

オーラルメディシン・病院歯科学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	松浦 信幸	静脈内鎮静薬に対する生体応答と術中管理に関する研究
准教授	中島 純子	摂食嚥下障害、頭頸部がん術後患者の機能回復に関する研究
講師	酒井 克彦	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
助教	吉田 佳史	口腔癌手術と睡眠呼吸障害に関する研究
レジデント	小松 万純	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
	本田健太郎	頭頸部がん放射線治療患者における口腔細菌叢に関する研究
	坂部 茉奈	肉芽腫性口唇炎患者の口腔細菌叢に関する研究
	亀本 滉樹	多数歯欠損の閉塞性睡眠時無呼吸症例に対する口腔内装置治療について
大学院生	江澤 明穂	耳下腺管の開口時期と遺伝子に関する研究
	佐藤 佑香	<i>Treponema denticola</i> の外膜に存在する分泌タンパク質様遺伝子の機能の解明
	長谷川 陽	接触性皮膚炎マウスモデル病態における TSP0 の機能解析
	深田 美緒	気道炎症マウスモデル病態における TSP0 の機能解明
	清藤 友介	TRP チャネルに着目した、嚥下反射誘発に関する研究
	秦 加純	脂質と甘味の混合効果とそれに関与する脂質受容体の解明

2. 成果の概要

- 1) 舌がんに対する放射線治療時に、口腔の健康な組織を照射野から距離を設けるために、開口を保持するための Positioning Stent という装置が使用される。しかし、この装置が具備すべき要件についての検討は十分にはなされていない。本研究では、Positioning Stent 装着時にどの程度開口をさせると効果があるかを検討した。過去の症例をシミュレーションした結果、平均 26mm 程度の開口量を設けることで、口蓋への被ばく量は舌への照射量を臨床的に有意な程度に減少することが可能であることを示した。

Reports of Practical Oncology and Radiotherapy. 2022;27(6):982-989

- 2) 全国の介護保険施設等に入所中の 986 名の高齢者を対象に、摂食嚥下機能と 1 年後の予後（死亡、入院、生存）との関連を検討した。1 年後に死亡または入院加療中の者は 216 名、770 名が施設にて生活を継続していた。初回調査時の発語、唾液の分泌、口臭、口腔周囲筋の筋力、咳の可否、含嗽の可否、口腔内の食渣の残存状況が、1 年後の予後に有意に関連していた。本研究の結果から、肺炎や誤嚥、栄養不良に関連する口腔機能の低下を有する要介護高齢者に対する、継続的な口腔機能管理が必要であることが示唆された。

Gerodontology. 2022;39(4):374-383

- 3) 加齢に伴う嚥下機能の生理的な変化「老嚥」の実態は十分には解明されていない。本研究では、85 歳以上の高齢者を含む誤嚥のない高齢者を対象に、咽頭期嚥下の動態の潜在的な変化について解析を行った。対象は誤嚥や喉頭内侵入を認めない 85 名（25～101 歳）とし、非高齢群（25～64 歳）、早期高齢者群（65～74 歳）、中期高齢者群（75～84 歳）、後期高齢者群（85 歳以上）の 3 群に分類し、嚥下造影検査の解析により咽頭期嚥下遅延時間、舌根と咽頭後壁接触時間、食道入口部開大時間・開大量、舌骨移動距離を比較した。

後期高齢者群は、早期高齢者群よりも咽頭期嚥下遅延時間が有意に延長しているが、食道入口部の開大量は増加傾向にあった。本研究結果より、単なる加齢が原因の嚥下機能の変化は顕著ではなく、嚥下機能を維持するために代償的な運動が営まれ、円滑な嚥下機能が遂行されていると示唆された。

European Geriatric Medicine. 2022;13(3):655-661

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
酒井克彦	抗血栓薬服用患者における cnm 陽性 S. mutans 感染と脳内出血発症との関連を検証する多施設共同観察研究	国立循環器病研究センター	吹田市	猪原 匡史

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費 科研費の場合は種別も記載
櫻井 学	吸入麻酔薬の作用に対するアデノシン受容体の関与	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C)
中島純子	嚥下機能改善目的とした口唇周囲筋のトレーニングプログラム開発と介入基準作成	科学研究費助成事業・基盤研究 (C)
酒井克彦	オーラルフレイルに着目した周術期口腔機能管理法の確立	科学研究費助成事業・若手研究

5. 研究活動の特記すべき事項

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演 題	学会名	開催地
松浦信幸	2022. 7. 3	令和4年度「安全な歯科医療のためのバイタルサインセミナー」安心・安全な歯科医療のために-歯科治療における全身偶発症予防と緊急対応、高齢患者の心身特性の理解と評価-	富山県歯科医師会 日本歯科麻酔学会共催	富山市

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演 題	会合の名称	開催地
松浦信幸	2022. 7. 2-24	病院における 口腔機能管理 (口腔ケア) に必要な基本知識 -がん医療を中心に-	日本歯科衛生士会 認定 歯科衛生士セミナー 医 科歯科連携・口腔機能管 理コース	Web
松浦信幸	2022. 12. 4	東京歯科大学市川総合病院 「2講座体制」、「新歯科診療棟 のご紹介」	東京歯科大学千葉県同窓 会定時総会	千葉市
松浦信幸	2023. 1. 19	「歯科医院における一次救命処 置と緊急使用薬剤」	千葉県船橋歯科医師会 医療安全研修会	船橋市
松浦信幸	2023. 1. 27	「在宅（訪問）歯科診療時にお ける救急対応について」	埼玉県大里郡市歯科医師 会学術講演会	深谷市

松浦信幸	2023. 2. 19	「診療所での救急対応 ～常備用救急薬の使い方と心肺 蘇生法実習～」	東京都八南歯科医師会 令和4年度 学術研修会	八王子市
松浦信幸	2023. 3. 25	「歯科治療に必要な内科学」	東京歯科大学 千葉県同 窓会 市川・浦安支部 学 術講演会	市川市
中島純子	2022. 11. 2 2	術前から術後までの患者支援 (顎補綴や摂食嚥下障害等)	千葉県印旛郡市歯科医師 会 (佐倉地区)	佐倉市
中島純子	2022. 12. 1 5	摂食嚥下障害に対する歯科的ア プローチ	第7回パーキンソン病多 職種連携勉強会 パーキ ンソン病の摂食嚥下を考 える	Web
中島純子	2023. 2. 19	口腔がん術後の機能回復に対す る口腔内装置を用いたアプ ローチ	北関東摂食嚥下リハビリ テーション研究会	Web
中島純子	2023. 3. 11	口腔がん術後患者に対する歯科 的支援 (顎補綴や摂食嚥下障 害等について)	東京医科歯科大学千葉県 同窓会	千葉市
酒井克彦	2022. 10. 5	NSTにおける歯科の役割と亜鉛 補充の意義	Nutritional Therapy Seminar	市川市
酒井克彦	2023. 2. 7	摂食嚥下障害の基本と対応	令和4年度歯科口腔機能 管理等研修会	Web

6. 教育に関する業績、活動

教育ワークショップ・FD研修

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
松浦信幸	2022. 7. 31	日本歯科衛生士会 認定歯科衛 生士セミナー 医科歯科連携・口 腔機能管理コース グループワー ク	タスクフォース	東京都 千代田区

共用試験

氏名	年月日	種別	役割	開催地
松浦信幸	2022. 7. 15 -16	医療系大学間共用試験実施評価 機構 歯学生臨床実習前 OSCE (北海道大学 歯学部)	機構派遣監督者	札幌市
松浦信幸	2022. 10. 9	医療系大学間共用試験実施評価 機構 モデル OSCE (日本大学 歯学部)	課題責任者	東京都 千代田区

松浦信幸	2023. 2. 4-5	医療系大学間共用試験実施評価機構 評価者認定講習会トライアル	受講者	東京都新宿区
松浦信幸	2023. 2. 17-18	医療系大学間共用試験実施評価機構 歯学生臨床実習前 OSCE (日本大学 歯学部)	機構派遣監督者	東京都千代田区
松浦信幸	2023. 2. 25-26	医療系大学間共用試験実施評価機構 歯学生臨床実習前 OSCE (東京歯科大学)	オブザーバー	東京都千代田区
松浦信幸	2023. 3. 18-19	医療系大学間共用試験実施評価機構 モデル OSCE (日本歯科大学)	課題責任者	東京都千代田区
中島純子	2023. 2. 26	2022 年度 東京歯科大学 共用試験歯学系 OSCE	評価者	東京都千代田区

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義・実習

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
松浦信幸	2022. 12. 9	障害者歯科学 概論	オホーツク社会福祉専門学校講義 (障害者歯科学)	Web
松浦信幸	2022. 12. 9	障害者歯科学 各論	オホーツク社会福祉専門学校講義 (障害者歯科学)	Web

7. 社会的貢献・社会に対する活動

医学の啓蒙を目的とする講演会 (市民を対象とするもの)

講演者	年月日	演題	講演会名	開催地
松浦信幸	2022. 11. 20	地域歯科医療における総合病院 歯科・口腔外科の果たすべき役割 ~安心、安全な歯科医療~	令和4年市川市歯科医師会 市民公開講座	市川市